

主な記事

総合戦闘射撃

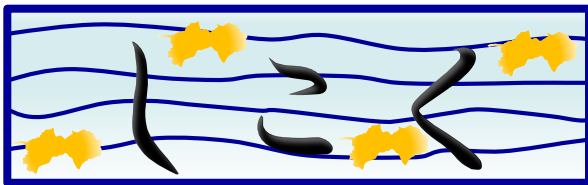
(1面)

令和3年度第14旅団音楽まつり

(1面)

第14情報隊新編行事

(2面)



令和4年(2022年)2・3月 第173号

旅団長統率方針「任務必成」  
旅団長要望事項「プロであれ」



陸上自衛隊第14旅団広報紙

発行所：第14旅団司令部総務課広報班  
住所：香川県善通寺市南町2丁目1-1  
電話：0877-62-2311 (内2256・2257)  
メールアドレス：pr-14b-ma@inet.gsdf.mod.go.jp

# 総合戦闘射撃

## 諸職種協同

### 力を結集し練度向上を図る

第14旅団(旅団長 遠藤充陸将補)は、2月中旬、あいば野演習場(滋賀県)において戦闘射撃を実施した。本訓練は、第50普通科連隊(連隊長 溝口光章1等陸佐)が担任し、155mmりゅう弾砲、16式機動戦闘車、中距離多目的誘導弾、120mm迫撃砲及び81mm迫撃砲と協同した総合戦闘射撃を実施した。



16式機動戦闘車と連携して敵の攻撃を破砕する第50普通科連隊



方面総監(写真：右)による訓練現地指導

本訓練は、小部隊指揮官の射撃指揮、諸職種間の火力調整及び基本・基礎の練度向上を図るとともに、安全・確実な射撃要領について徹底し、任務遂行能力の強化を図る目的で行い、旅団長が、各部隊の実施する総合戦闘射撃及び実弾射撃訓練状況を確認した。また、方面総監による訓練現地指導を受けた。

関連 ③④面



155mmりゅう弾砲による支援射撃

## 旅団音楽まつり

テーマ

# Step

～踏み出そう～

第14旅団は、3月6日、香川県高松市レクザムホール(香川県民ホール)において令和3年度第14旅団音楽まつりを開催した。今年のテーマは、これからの新たな時代(アフターコロナ等)へ向かって一人一人が一步踏み出す活力を感じていただけるよう、「Step」踏み出そう」とした。

音楽隊長



映像と演奏のコラボレーション



鳴りやまない拍手の中 アンコールを受ける隊員



ドリルステージ



太鼓演舞

### 聴衆に笑顔と感動を

アンコールを受け、米津玄師作曲「カイト」を演奏し、約700名の来場者の盛大な拍手のうちに音楽まつりを終了した。来場者からは、「迫力があって心に沁みました。また次も行きたいと思いま

す。「や」久しぶりに演奏を聴くことができ涙が止まりませんでした。どのコメントが寄せられた。



陸上自衛隊 第14旅団  
逐次発信中!



陸上自衛隊  
広報チャンネル



陸上自衛隊広報チャンネル  
(YouTube)に  
「自衛隊式感染症予防」  
を掲載中!



# 新たな力を得て 更なるステージへ

## 新編行事

### 第14情報隊新編行事を実施

第14旅団は、3月17日付で新編された第14情報隊の改編行事を同日、善通寺駐屯地において実施した。

本行事は、新編部隊に対する理解を深めるとともに、部隊の団結強化及び士気の高揚を図ることを目的として行われた。

旅団長から初代隊長 甲斐清博 2等陸佐に隊旗が授与された。

編成管理官である遠藤旅団長は、「真に部隊として機能するには、それ相応の歳月と、厳しい訓練を通じた団結の強化が必要である。どうか第14情報隊の創立メンバーであるとの誇りを持って、新編部隊の運営に一人一人が積極的に参画してもらいたい」と述べた。



記念撮影



隊旗授与

### 第10代副旅団長

#### 福元1佐着任

3月14日付で、福元洋一 1等陸佐が東部方面総監部総務部長から第10代副旅団長兼善通寺駐屯地司令に着任した。

福元1佐は、宮崎県出身で55歳。主要略歴は、第10特科連隊長兼豊川駐屯地司令(豊川)、陸上自衛隊研究本部主任研究開発官(朝霞)、第3師団司令部幕僚長(千僧)、防衛医科大学校学生部長(所沢)などを歴任している。



状況報告受け(写真:右(福元1佐))



着任の辞

### 第10代幕僚長

#### 山崎1佐着任

3月17日付で、山崎誠一 1等陸佐が教育訓練研究本部教育部長から第10代幕僚長に着任した。

山崎1佐は、佐賀県出身で54歳。主要略歴は、東部方面総監部防衛部防衛課長(朝霞)、第4特科群隊長(上富良野)、陸上幕僚監部人事教育部厚生課給与室長(市ヶ谷)、自衛隊旭川地方協力本部長(旭川)などを歴任している。



着任の辞



旅団司令部各部課長等の出迎え

### 下本前副旅団長は 愛知地方協力本部長へ



前副旅団長兼ねて善通寺駐屯地司令 下本昭司 1等陸佐は、3月14日付で自衛隊愛知地方協力本部長として栄転された。

下本1佐は、令和元年12月に着任し、2年4カ月間勤務、3月11日に、転出行事の後、駐屯地所在隊員に見送られ、善通寺駐屯地を後にした。

### 岡本前幕僚長は 京都地方協力本部長へ



前幕僚長 岡本宗典 1等陸佐は、3月17日付で自衛隊京都地方協力本部長として栄転された。

岡本1佐は、令和元年12月に着任し、2年4カ月間勤務、3月16日に、転出行事の後、駐屯地所在隊員に見送られ、善通寺駐屯地を後にした。

### 転入



第14飛行隊長兼ねて  
(陸上幕僚監部防衛部防衛課)  
2等陸佐 福重 誠啓



第14通信隊長兼ねて  
(陸上幕僚監部装備計画部 装備計画課)  
3等陸佐 小野田 怜



第14特殊武器防護隊長  
(化学学校)  
3等陸佐 西原 清隆



第14旅団司令部会計課長  
(小平学校)  
3等陸佐 榎 洋史



第14旅団司令部監察官  
(奄美警務隊副隊長)  
2等陸佐 間仁田匡史

以上 令和4年3月14日付

### 転出



中部方面総監部防衛部  
(第14飛行隊長兼ねて)  
2等陸佐 高橋慎一郎



陸上総隊司令部運用部  
(第14通信隊長兼ねて)  
第14旅団司令部通信課長)  
2等陸佐 西山 仁基



化学学校  
(第14特殊武器防護隊長)  
3等陸佐 新美 賢一



小平学校  
(第14旅団司令部会計課長)  
3等陸佐 石原 典子



以上 令和4年3月14日付

### 退官



(第14旅団司令部監察官)  
1等陸佐 阿部 浩司

令和4年3月14日付



転出行事で紹介を受ける岡本前幕僚長 (写真:右)



万歳三唱を受ける下本前副旅団長 (写真:中央)



# 如何なる気象条件においても 任務完遂できる部隊を目指して



## 第15即応機動連隊

### 機能別射撃野営訓練を実施

第15即応機動連隊(連隊長 福井謙1等陸佐)は、2月中旬、零度を下回る気温と約1mを超える深い積雪の中、あいち野営場(滋賀県)において令和3年度機能別射撃野営訓練を実施した。

本訓練は、MCV(16式機動戦闘車)小銃戦闘射撃、MCVと連携した小銃小銃から分隊の戦闘射撃及び対人狙撃銃射撃を行い、射撃指揮能力、各個射撃練度及び協同連携要領の練度を向上させた。MCV小銃戦闘射撃は、小隊長の射撃指揮及び各車内(車長、砲手、操縦手、装填手)の連携能力を、MCVと連携した小銃小銃から分隊の戦闘射撃は、小隊長の射撃指揮、MCVとの連携能力及び各個の射撃練度(戦闘照準)を向上させた。

対人狙撃銃射撃では、基本射場で実施することができない遠距離目標への射撃を実施し、射手の精密射撃、風量修正及び射手と観測手の連携等の練度を向上させた。連隊は、野営において積み上げた各種射撃練度を来年度に繋げるべく引き続き練成を重ねていくとともに、如何なる地形・気象条件においても任務を完遂できる部隊を育成していく所存である。



射手と観測手の連携により遠距離目標への対人狙撃銃射撃を行う隊員

## 第50普通科連隊

### 連隊野営訓練(総合戦闘射撃)を実施

# 前方地域～ 主戦闘地域の戦闘!



前方地域において射撃を指揮する小銃小隊長(写真:左(長橋幹部候補生))

第50普通科連隊(連隊長 溝口光章1等陸佐)は、2月中旬、あいち野営場(滋賀県)において、連隊野営訓練(総合戦闘射撃)を実施した。本訓練では、本部管理中隊から対戦車小銃、普通科中隊から小銃小銃及び迫撃砲小銃並びに重迫撃砲中隊が参加し、支援部隊として第15即応機動連隊、中部方面特科連隊の協力を得て、小隊長以下の射撃指揮、諸職

種部隊間の火力調整及び基本・基礎の練度向上を図ることができた。

本訓練に1月下旬に着任した長橋良平幹部候補生が小銃小隊長として参加し、訓練終了後、「隊付教育の中で総合戦闘射撃の小隊長を経験できたことは大変勉強になった。この貴重な経験を生かし、今後、小銃小隊長としての自覚と責任を保持し、部隊に貢献していきたい。」と語った。

### 特集

### ピックアップフォト集



前方地域における小銃小隊の射撃(写真:上右)



小銃小隊の機関銃による射撃(写真:上中央)



諸職種部隊が参加したミッションリハーサル(写真:上左)



前方地域における機動戦闘車との協同による射撃(写真:下右)



主戦闘地域における小銃小隊の携帯対戦車弾による射撃(写真:下左)



### 中部方面特科隊

## 総合戦闘射撃に参加

中部方面特科隊（隊長 服部 真之介1等陸佐）は、2月中旬、あいは野演習場（滋賀県）において令和3年度総合戦闘射撃に参加した。

本訓練は、島しょ防衛における普通科中隊との火力調整、射撃及び諸職種協同要領を演練するために行われた。

積雪という厳しい状況において特科隊は、増強第1中隊を編成し、中隊長の明確な企図の下、F.Oの火力調整能力の向上及び火力戦闘部隊としての射撃能力の向上を主眼として、日頃の練成訓練の成果を遺憾なく発揮した。

この際、訓練に先立ち松山駐屯地及び現地において安全係、砲班長等に対する安全教育、認定試験を実施するとともに、射撃の終始を通じて目視及び



呼吸を合わせ迅速・確実に装填動作を行う砲班



弾着の観測を行うF.O隊員

レーダによる射弾の観測を実施し、実射安全管理に万全を期した。

本訓練により「任務必成」に向けた普通科部隊との連携について練度向上を図ることができた。

### 第14後方支援隊

## 輸送隊の訓練検閲を実施

第14後方支援隊（隊長 吉元雄一1等陸佐）は、2月中旬、日本原演習場（岡山県）において令和3年度隊訓練検閲を実施し、輸送隊（隊長 城本光俊3等陸佐）及び衛生隊（隊長 本莊龍輝3等陸佐）の訓練度を評価して、その進歩向上を促した。

本訓練検閲は「敵の着上陸侵攻阻止に当たる部隊に対する兵站・衛生支援」を課目とし、受閲部隊は、想定受領以降、善通寺駐屯地において隊本部及び関係部隊等と調整を綿密に行い、作戦準備を完了した。

大量の傷病者の搬送・受入



訓練検閲開始式において統裁官は「職種部隊の基本的行動の追求」「安全管理・健康管理」の2点を要望した。

本訓練検閲では、降雪・寒冷の厳しい気象条件の中、陣地防御を実施したが、受閲部隊は各隊長要望事項の「輸送任務の完遂、全力を尽くせ、安全管理・健康管理の徹底」（輸送隊）、「衛生支援の完遂」（衛生隊）を胸に、各種施設の開設・運営及び築城、輸送・衛生支援等を隊一丸となつて実施する等、それぞれの任務を完遂して状況を終了した。



化学剤検知器（AP2C）による検知



輸送中の伏撃対処



進入直後の地域での命令下達

### 第14偵察隊

## 予備自衛官招集訓練を実施

第14偵察隊（隊長 今村正文2等陸佐）は、2月19日から23日までの間、善通寺駐屯地において第6次予備自衛官招集訓練を実施し、16名の予備自衛官が訓練に参加した。

本訓練実施にあたり、招集前の健康観察・PCR検査の実施、訓練間におけるソーシャルディスタンスの確保、招集訓練終了時の抗原検査の実施等、感染防止対策を万全とした。

訓練においては、精神教育、射撃訓練、体力測定及び野外訓練等を実施し、使命感を醸成す

るとともに、練度の維持を図った。

また、知識教育として広域多目的無線機の取り扱い、武器訓練として89式小銃の分解結合、ガンハンドリング及び格闘訓練を実施した。



通信訓練



武器訓練（ガンハンドリング）



野外訓練（検問）



# 初級・上級特技検定(近SAM・短SAM・情報)を実施

## 第14高射特科隊

### 更なる練度を求め

第14高射特科隊(隊長 高英和2等陸佐)は、2月21日から22日までの間、松山駐屯地及び小野演習場において令和3年度初級・上級特技検定(近SAM・短SAM・情報)を実施した。

本検定は、隊の保有する各種器材に対する知識及び操作の練度を評価・判定し、その進歩・向上を促すことを目的に行い、受検者は自身の所属する小隊の器材に関する術科試験及び学科試験をそれぞれ受検し、初級検定受検者7名、上級検定受検者2名の全員が検定に合格した。

初級検定受検者は、小隊器材の術科及び学科に加え、小野演習場において通信、野戦築城、警戒及び歩哨の術科試験を実施し、野戦築城においては一昼夜で個人用掩体に加えHMG(12・7mm重機銃)用掩体を構築した。各人は、その過酷さに耐え、必要な知識及び技能を体得することが出来た。



誘導弾の点検



懸命に構築する受検者



掘り上げた掩体(写真…左3番目)

検定を受検した三好真寛1等陸士は「HMG用掩体を掘ることがこんなに難しいとは思っていなかった。新隊員後期では8人で掘ったのでそれ程きついイメージを持っていなかったが、今回は3人で掘ったためとても辛かった。演習の時に小隊に迷惑をかけるまいと今後練成していきたい。」と検定を振り返り、今後の練成への熱意を語った。

### 隊員所感

## 第7次隊野営を実施

## 第14施設隊

## 第14飛行隊



84RRを射撃する隊員



HMGを射撃する隊員

第14施設隊(隊長 澤水隆一2等陸佐)は、2月中旬、日本原演習場(岡山県)において令和3年度隊野営を実施した。

本訓練は、部隊装備火器を使用した射撃であり、184mm無反動砲(84RR)、10mm個人携行対戦車弾(LAM)、12・7mm重機銃(HMG)の射撃及びM26破片手榴弾の投擲を実施した。

課目毎に教官を設定し、指導能力の向上を図るとともに、訓練対象者を若年隊員又は未経験者とし、隊の射撃能力等を向上させた。

本訓練は、基礎訓練(学科)及び応用訓練(術科)を行い、練度判定をもって被教育者20名の航空偵察能力の練度を確認した。無事に本訓練を終了し、旅団隷下部隊の航空偵察能力の向上に寄与した。

第14飛行隊(隊長 高橋慎一郎2等陸佐)は、2月下旬、北徳島分屯地において令和3年度旅団航空偵察基幹要員養成訓練を実施した。

### 旅団航空偵察基幹要員養成訓練を実施



航空装備の説明(基礎訓練)



航空偵察(応用訓練)する隊員

## 第14通信隊

### 通信特技検定を実施

第14通信隊(隊長 西山仁基2等陸佐)は、3月9日、善通寺駐屯地において「令和3年度通信特技検定」を実施した。

て練成に励んだ。その結果、本検定では、訓練成果が実り受検者全員が合格基準に達した。こうした特技取得のための特技練成訓練及び特技検定が毎年実施され、特技取得した隊員が翌年の新隊員の育成に携わり、通信科職種のプロとなっている。

本検定に向け、令和3年10月に着隊した新隊員15名は、将来の新領域への対応を最前線で行うシステム通信要員となるため、1月13日から3月9日までの間、新特技取得に向けた特技練成訓練を実施した。

特技練成訓練は、正確・安全な通信器材の取り扱い及び迅速さが検定合格基準となるため、教官が、特技を取得させるために限られた時間を活用し、熱意をもって教育を行い、また、検定受検者は、これに応えるべく汗を流し、時には合格基準に到達しない悔しさから涙を流し



協同でアンテナを開設する隊員





化学防護衣を装着しての走力把握

### 隊員紹介



第14特殊武器防護隊 陸曹長 浦野 皓一郎

1月27日付で善通寺駐屯地第14特殊武器防護隊に着隊しました浦野皓一郎 陸曹長です。

## 第14特殊武器防護隊

### 幹部候補生着隊訓練を実施 部隊の新たな戦力

### 幹部候補生着隊

第14特殊武器防護隊(隊長 新美賢一 3等陸佐)は、1月27日、善通寺駐屯地において、幹部候補生着隊訓練を実施した。  
本訓練に伴い化学科幹部としての素養を確認するとともに、化学防護衣を装着し任務遂行に必要な精神力を養成した。



着隊申告を行う幹部候補生

現在、偵察班長として勤務しています。大学時代は応用化学という分野の勉強をしていて、特殊武器防護隊は私にとって自分の能力を最大限に活かせる職種であると考えています。大学で学んだ基礎をもとに、部隊で応用を学び将来は装備品の開発に携わる機会、部隊の職務に就けるよう精進します。

## 第14旅団司令部付隊

### 養成集合教育を実施

### 不発弾処理技能者

第14旅団司令部付隊(隊長 實野智史 3等陸佐)は、2月14日から26日までの間、善通寺駐屯地、国分台演習場(香川県)及びあいば野演習場(滋賀県)において令和3年度不発弾処理技能者養成集合教育を実施した。  
本教育では、各部隊の要員に対し、火薬類取締法、弾薬類の構造・機能、不発弾の搜索、発掘、不発弾及び処分要領等を教育し、必要知識及び技能を修得させ、教育目的を達成した。



慎重に不発弾へ爆破薬を添装する隊員

## らっぱ手のための ワンポイントレッスン♪ vol.10

## 第14音楽隊

今回は演奏の分析についてお話ししたいと思います。

演奏しながら自分の演奏を分析する事は、なかなか難しいと思います。ですので、スマートフォン等で自分の演奏を録音し、音色・音程・発音・音の処理・フレーズ感がどのようになっているかを確認してみましょう。初心者の方であれば、アンブシュア※が崩れていたりするので、動画を撮ってアンブシュアの確認、口回りの動きも確認します。もちろん鏡を見ながら練習するのもおすすめです。録音・録画をすることによって冷静に分析が出来るので、活用して欲しいと思います。

「自分の演奏を自分で聴くなんて嫌だなあ〜、怖いなあ。」と渋ってしまいがちですが、演奏を冷静に見つめ直すことで、各段にレベルアップすること間違い無しです!

1年を通して、らっぱのワンポイントレッスンを掲載してきましたが、今後も演奏に迷った時はこの記事をご参考にして頂ければ幸いです。1年間ありがとうございました。

一音入魂!

※ アンブッシュアとは・・・管楽器の演奏者が、楽器を吹く時の口の形及びその機能である。

## 隊員家族投稿

### 初めての単身赴任

第14旅団司令部付隊

2曹 森本 伸吾 妻 寛子さん

令和3年8月、夫が松山駐屯地から善通寺駐屯地へ単身赴任となりました。異動の話聞いた時、「これからどんな生活になるのかな?」「子供は寂しがらないかな?」「等々たくさん不安と心配が脳裏に浮かびました。それと同時に、夫が決めた事だから大丈夫と自分に言い聞かせ、「しつかり頑張ってください!」と送り出したのを覚えています。それから約半年、少しずつですが善通寺での生活にも慣れて来たようで、家に帰るとおもしろい話や香川の観光地の話をたくさんしてくれちゃいます。単身赴任になって、改めて夫のありがたさや存在の大きさに気が付き家族の絆は一層強くなったように思います。今は新型コロナウイルスの影響もあり、電話で話す日々ですが「お互い頑張ったね」と笑いあえるようになってきました。善通寺駐屯地の皆様、引き続きよろしくお願致します。

